



吉備総合電設が9月に60周年 企業PRを兼ねた電気自動車を導入

吉備総合電設㈱(鳥取市田園町三十一〇一、山下峯議社長)が9月に60周年を迎え、既存事業の枠組みを越えた動きを加速させている。

近年では防災「吉備総合電設」というイメージの構築に向け、防災グッズの制作、自社ECサイトでの販売、SNSを通じた情報の発信を進めており、直近では電気自動車を導入。自社PRのラッピングを施し、営業車両として利用している。

山下社長は「県内東部では電気工事だけでなく、防災というイメージも少しずつ浸透してきているとは思いますが。しかし、中部や西部では未だ足りない」と話す。

導入した電気自動車は2台。SDGs推進活動をPRしたものと、防災活動をPRしたものだ。SDGs車輛は東部、防災活動車輛は西部を走っている。

電気自動車は2人乗り。200Vの電圧で約5時間で充電が完了する。満充で150kmの走行が可能で、車体の小ささから

小回りがきき、営業車両としては非常に優秀だ。

最高時速は60kmで、高速道路を走行できないため遠出には不向きだが、入り組んだ道などにはうつつつけ。さらに、車体本体を電源として使用可能で、災害時などには非常用としても使用できる。

熱心な広報活動の背景には業界全体が抱える問題があり、その解消が狙いだ。中でも最も懸念されているのが人材不足だ。

「どうしても建設業全体のイメージが悪く、若手が入ってこない。外部に情報を発信するアイコンを作り出すことでまずは知ってもらいたい。弊社は単に現場仕事をこなしているだけではない」と力を込める。

同社は防災活動を通じて、ITを絡めた事業、SNSによるコンテンツ制作にも注力しており、様々なチャレンジを進めている。「若手に、こういう分野なら自分も力になれるかもしれないと感じてほしい。そのためには広報を積極的に進め、会社

導入された電気自動車

が進める様々な事業に興味を持ってもらう事が重要です」と山下社長。多角化を進め、外部にその動きをしつかりとアナウンスする。これによってより多くの若い求職者への訴求を進める同社。これらの動きの先には同社が掲げる目標が据えられている。山下社長は「労

働環境の改善につなげたい。現在弊社は完全週休2日制を目指しています。そのためには業務効率化を徹底し、人員の確保が必要です」と現状を見る。

業務効率化については、SDGsの観点に基づき担当者を配置。クラウドを利用した情報の共有システムを導入し、現場情報や工程管理までシステム化を実現している。また、資格手当や社内評価制度を導入するなど、人材を育成・定着化させる環境づくりにも取り組んでいる。

さらには事務所の新築をはじめ、多くの動きが今後も控えているという。「企業、業界の未来のためにできることはどんどんしていきたい。より多くの若い人材に目を向けてもらえるよう、新たな挑戦を続けていきます」としている。

ソフィアはお客様の成功につながるクラウドサービスを提供します

▼ 業績改善、業務アップのためのクラウドサービス

- Evernote teams
- チーム全員の作業をワーク所に集約
- Dropbox Business
- 安全なファイル共有とストレージ

▼ LINEと繋がる唯一のビジネスチャット

- salesforce
- 世界No.1のCRMプラットフォーム
- 顧客管理・営業支援ツール

LINE WORKS

株式会社ソフィア

TEL0868-25-1000

(担当: システム営業部 水島)

本社/岡山県津山市河原町29-3

鳥取支店/鳥取市千代水2丁目69

<https://www.sophia-inc.co.jp/>